



森林ボランティア 「オホーツクの会」だより No.19



森林ボランティア「オホーツクの会」総会

更なる前進に向け活発な論議！！

平成23年度総会が3月25日北見市緑のセンターで開かれ、活動報告、決算報告、監査報告、平成24年度活動計画、予算案が承認可決されました。



冒頭、鞆師会長からは“5年目を迎え自主活動が行われるなど大きく前進することができた。次年度に向け仲間同士の意見交換をしながら更なる活動をしていきたい”との挨拶がありました。

常呂川森林環境保全ふれあいセンター藤生所長からは“自分たちが何をすべきか考え、何を実現させるか真剣に考え実行されており、さらなる躍進が期待されます。今後もふれあいセンターとしてできることをお手伝いしていきたい”との挨拶がありました。



総会の論議報告

<新たな活動計画>

- ・森づくりの継続活動（種を拾う、播く、植樹、保育）や調査等への取組み。
- ・ガイドの育成（オホーツクみどり検定に向けての講習）
- ・緑の募金活動
- ・「森の家」周辺整備（草刈り、階段設置等）
- ・エゾシカ被害調査
- ・北海道森林管理局主催「森林ボランティア座談会」への参加
- ・秋期ボランティア植樹準備（草刈等支援）
- ・その他の自主活動



<変更>

- ・森林ボランティア植樹→秋期に変更

<注目された論議より抜粋>

○自主活動の取組みについて

出席者：従来、ふれあいセンターの指導のもとで事前に決められていた範囲の活動をするだけが私たちの活動とっていました。

事務局長：従来の活動に加えて、自分たちがどのようなことができるかを考え活動することが大切であり、誰でもできることから始めていただきたいと思います。

出席者：具体的にはどのような方法でやればよいのですか？

事務局長：事前にふれあいセンターと打ち合わせ、調整を行い、了解をうけてから行うこととなります。現地への集合は各自対応となります。なお道具等の借用や施設の利用なども事前の申し込みが必要となります。

出席者：自主活動に向け、気軽に出来るメニューがあれば行動に移しやすいので教えてほしい。

事務局長：当面、実行しやすいものとして「森の家」周辺の草刈等が挙げられます。その他については会報等でお知らせしたいと思っています。

出席者：あとは行動だけですね！・・・**場内納得の大爆笑**



総会での紹介

なお、総会終了後に藤生所長から、道内国有林の現状や管理局組織と常呂川ふれあいセンターの関係、活動状況についてスライドを使ってわかり易い講話がありました。

引き続き特別発表として佐々木自然再生指導官から、北の国・森林づくり技術交流発表会で最優秀賞を受けた「人を育て、森を生かす」のスライドと解説があり、オホーツクの森自然再生モデル事業の取り組みが紹介されました。

また、会場にはふれあいセンターによる活動内容や動植物の写真展示が行われ、多くの方が興味深く見っていました。

常呂川森林環境保全ふれあいセンター所長交代

新所長着任の挨拶

この度、常呂川森林環境保全ふれあいセンターに来ました菊地浩司(きくちこうじ)と申します。どうぞ前任の藤生と同様に、お付き合いいただきますようお願いいたします。

さて、簡単に自己紹介します。生まれは北海道余市町で、現在50歳です。職歴は帯広営林支局を振り出しに、北海道内各地を転勤してきました。前任地は空知森林管理署(岩見沢市)で、これまでは主に、民有林行政(北海道、各自治体等)との連絡調整等を行ってきました。今回は、7年ぶりの北見で、前回は網走中部森林管理署の北見森林事務所にいました。ちょうどふれあいセンターの壁隣にあります。

ところで貴オホーツクの会については、多くの会員の方々が、積極的に森林整備等を行い、また、市民へも森林のふれあいの場を提供するなどご活躍なさっていると伺いました。これからも当ふれあいセンターの行事等にご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



～大変お世話になりました～

4月1日付けで藤生所長が北海道森林管理局(札幌市)異動になりました。在任中は大変お世話になりました。異動先でのお仕事においても当会との関係が続くとお聞きしていますので、今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。
(事務局)

冬の自然観察会 in ポンポン山 不思議な世界の体験



冬の自然観察会の報告

3月3日（土）屈斜路カルデラ中央部に位置する弟子屈町仁伏の国有林内にある「ポンポン山」（火山の影響を受け形成された地熱帯の地表面を上から軽く足で叩くとポンポンと音がする）まで往復約4 Kmをスノーシューで雪上散策を楽しみました。

参加者は47名（含む一般参加者19名）で天然林やトドマツの人工林の状況や動物の足跡、野鳥などを観察しながら目的地の「ポンポン山」に到着しました。

そこに現れたのは、真冬にも関わらず積雪が無く地表からは蒸気が立ち込め、苔むした丘が広がっていました。参加者からは思わず“すごーい”と声が上がっていました。地表が暖かいため真冬でもコウロギの仲間が鳴いているとのことでしたが冬の異常な寒さのため聞き取ることができませんでしたが冬の森林を心地よく楽しんだ1日となりました。

冬の自然観察会参加者の声



ポンポン山

日本ボーイスカウト 北見カブスカウト隊

少学5年 広瀬 拓美

ぼくは3月3日にぽんぽん山に行き、山をのぼりました。

かんじきをはくのは、すごく時間がかかりました。それにはくのは、めんどくさかったです。

登るときは、かんじきがあるので以外と楽でした、だけど、とちゅうで、かんじきがぬげたら歩きにくかったです。

目的地についたら少し休みました。

そしてくだるときは、くだりの時は坂が以外とありませんでした。出てくる所がちがっていてびっくりしました。

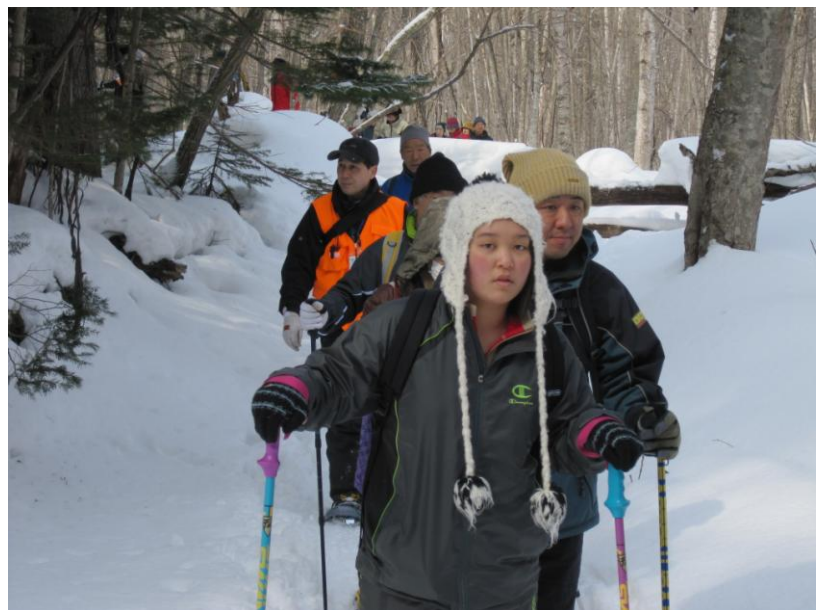


日本ボーイスカウト 北海道連盟北見第2団

中学2年 広瀬 歩乃香

今回私は普段の活動では教えてもらったことがないようなことをガイドの方などに教えていただきました。

今回教えていただいたことを、これからの活動で生かしていきたいです。





冬の自然観察会 第1班の集合写真



冬の自然観察会 第2班の集合写真



冬の自然観察会 第3班の集合写真



冬の自然観察会 第4班の集合写真

お知らせ

当面の活動

○常呂川森林環境保全ふれあいセンターへの協力

第27回オホーツク「木」のフェスティバル（5月18日～5月20日）に、ふれあいセンターが参加しますので、都合の良い時に立寄り、ゲーム等のお手伝い協力願います。

竹とんぼ作成を5月19日13時から15時まで行っています。



第1回自主活動

当会が昨年ルートを開設した散策路の草刈や枝払い等の整備、階段作りをすると共に活用方法を参加者で検討していきます。

なお、現地までは各自または乗り合わせの車両で集合（弁当持参）、作業に必要な道具はふれあいセンターが用意してくれます。

具体的な日程

5月27日（日）「森の家」9：30集合、14：00解散

参加申し込み

常呂川森林環境保全ふれあいセンター 5月22日（火）まで

第2回自主活動

「森の家」周辺の草刈等をおこないます。

現地までは各自または乗り合わせの車両で集合（弁当持参）、作業に必要な道具はふれあいセンターが用意してくれます。

具体的な日程

6月24日（日）「森の家」9：30集合 14：00解散

参加申し込み

常呂川森林環境ふれあいセンター 6月19日（火）まで



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林環境保全ふれあいセンター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

050-3160-6321

FAX 0157-23-2472

平日8:30～12:00 13:00～17:15